

安全データシート

制定日：2016年3月1日
改訂日：2021年06月29日

整理番号 040021_2

1. 化学品及び会社情報

製品名	ハイポニカ用複合液肥 A-1
会社名	協和株式会社
住所	大阪府高槻市下田部町1丁目1番5号
担当部門	ハイポニカ事業本部
電話番号	072-675-1155
FAX 番号	072-685-7090
緊急連絡先	072-685-1155

使用上の制限： 肥料

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

人健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
	生殖細胞変異原性	区分 2
	生殖毒性	区分 2
	標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分 2
	標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分 2

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険有害性情報：

危険
眼刺激性
遺伝性疾患のおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
血液の障害のおそれ
長期にわたる又は反復曝露による血液の障害のおそれ

注意書き：

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護眼鏡／長袖の作業着を着用すること。
石灰硫黄合剤と反応して有害ガスが発生する恐れがあり、危険なので混用しない。

【応急処置】
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。もしコンタクトレンズを装着して、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。医師の診察及び手当を受けること。

【保管】
直射日光を避け、冷暗所で保管すること。
小児の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】
内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する（地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する）こと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名（又は一般名）： 養液栽培用肥料

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
非公開	非公開	非公開	非公開	非公開

*各法令通知対象に該当する成分情報については『15. 適用法令』参照

4. 応急措置		
皮膚に付着した場合	水で洗い流す。	
眼に入った場合	直ちに多量の水で洗眼する。必要に応じ医師の診断を受ける。	
飲み込んだ場合	意識があるときには多量の水を与え、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。	
5. 火災時の措置		
消火剤	大量の水	
特有の危険有害性	データなし	
消火方法	火災時には初期消火に努め、大量注水を行う。 周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。	
消火を行う者の保護	必ず呼吸保護具及び状況に応じた適切な保護具を着用して行う。	
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	可能な限り回収した後、残渣を大量の水で洗い流し、排水処理を行う。 漏洩物には異物等が混入している可能性があるため元の容器には戻さず、適切な容器に回収して廃棄する。	
回収、中和	漏洩物を密閉可能な容器に回収し、安全な場所へ移す	
7. 取扱及び保管上の注意		
【取扱い】		
安全取扱注意事項	ばく露防止のために適切な保護具(8.ばく露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 長期または反復ばく露は避ける。 取扱い後は、手、顔などをよく洗う。 本品の用途(肥料)以外に使用しない。	
【保管】		
安全な保管条件	直射日光を避け、冷暗所で保管すること。 小児の手の届かない場所に保管すること。	
8. ばく露防止及び保護措置		
設備対策	取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。	
管理濃度	データなし	
許容濃度	データなし	
保護具		
手の保護具	不浸透性保護手袋	
眼の保護具	安全ゴーグルを着用する。	
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣	
9. 物理的及び科学的性質		
物理的状态		
形状	液体	
色	透明	
臭い	データなし	
pH	データなし	
融点・凝固点	データなし	
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし	
分解温度	データなし	
引火点	データなし	
発火点	データなし	
爆発限界		
下限	データなし	

上限 嵩比重	データなし 1.146g/ml
-----------	--------------------

10. 安定性及び反応性	
安定性	通常の使用環境においては安定
避けるべき条件	高温と直射日光
避けるべき材料	可燃性物質、アルカリ性物質、強酸性物質
危険有害反応可能性	石灰硫黄合剤と反応して有害ガスが発生する恐れがあり、危険なので混用しない。

11. 有害性情報	
急性毒性(経口)	分類できない
(経皮)	分類できない
(蒸気)	区分に該当しない(分類対象外)
(粉塵)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	区分 2B
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない
生殖毒性	区分 2
生殖毒性 授乳影響	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	区分 2
特定標的臓器・血液 (単回ばく露)	区分 2
特定標的臓器・血液 (反復ばく露)	区分 2
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性(急性)	分類できない
水生環境有害性(慢性)	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

14. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	非該当
国連危険有害性クラス	非該当
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。積載する場合には、容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器は乱雑に扱わない。

15. 適用法令	
肥料取締法	生第 83282 号
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
消防法	非該当

16. その他情報

参考文献及び参照ホームページ等

1. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

免責事項

この SDS は化学製品を安全に取り扱うための参考情報として、当該製品を取り扱う事を業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

改定日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

以上